

総長あいさつ



九州大学総長 石橋達朗



「九州大学教員ハンドブック2021」を刊行しました。このハンドブックは、新採用の教員や学術研究員を主な対象として、大学の運営方針の共有と法令順守の徹底など、本学での教育研究活動の一助とするために、本学の理念・方針、運営組織、教育研究体制、サービス・倫理規程、施設設備利用、各種事務手続等の広範な事項を簡潔に分かりやすく掲載する形で、2010年から刊行しています。

九州大学は、1911年に九州帝国大学として創立され、人社系・理工系・医歯薬系の広範な領域において、我が国を代表する基幹総合大学として発展を続けています。

2011年の創立百周年に際し、これからの百年に向けて、「自律的に改革を続け、教育の質を国際的に保証するとともに、常に未来の課題に挑戦する活力に満ちた最高水準の研究教育拠点となる」ことを基本理念とし、世界に認められる教育、研究、診療活動を展開し、更なる発展を進めていかなければなりません。

近年、少子高齢化、逼迫した財政状況、不安定な国際情勢、深刻化する環境問題、加えて、2020年は新型コロナウイルス感染症の世界的流行など、私たちはさまざまな問題に直面しています。そのような中、これまで培ってきた大学の知を結集し、新しい時代の難しい課題を解き、形にして活用していくことが、大学に課せられた重要な使命だと考えています。大学で働く職員として自覚と誇りをもって、社会からの要請や期待に、基幹総合大学としての確かつ迅速に答えていく必要があります。

そのひとつの取組として、アジア・オセアニア地域で今日生じている多くの社会的課題の解決、さらには将来を見据え予想される社会問題の発生抑制に関する研究教育を通して未来を拓く新たな学問領域の構築を目指した「アジア・オセアニア研究教育機構」を創設し、その活動を展開しています。また、優れた研究業績を有する将来有望な本学の女性および若手教員が、海外のトップレベルの研究者による研修を受けることなどにより、国際的に通用する研究教育力を実践的に身につけることを目的とした「ダイバーシティ・スーパーグローバル教員育成研修 (SENTAN-Q)」を実施するなどの改革に取り組んでいるところです。

本ガイドブックを九州大学における教員生活のよきガイドとして活用していただき、充実した教育研究活動を展開されることを期待いたします。